

2025 年 5 月 20 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View:25 年 5 月豪州概況

米相互関税が豪ドルの重しとなる展開が継続か

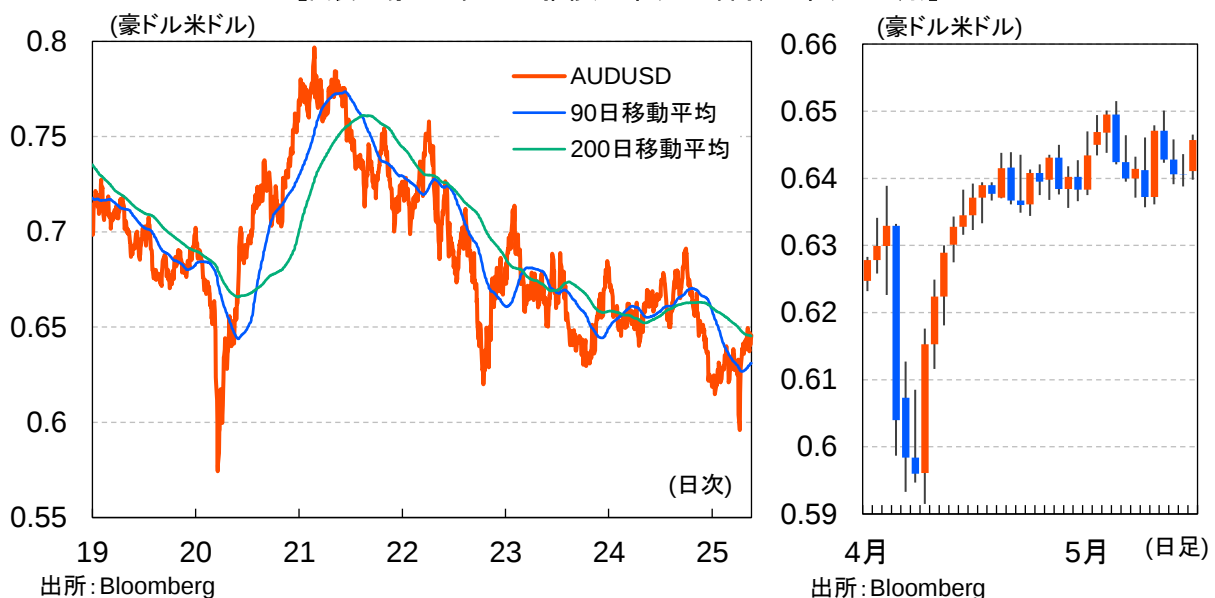
要約

- 4 月の豪ドルは対ドル・対円ともに大きく下落したのち、次第に水準を戻す展開となった。
- 対ドルでは 25 年央にかけて現状(1 豪ドル 0.64 ドル)程度で推移しそうだ。米関税政策の先行き不透明感やそれに伴う豪州経済の下押しが豪ドルのマイナス材料。
- 対円では米景気懸念から足元はリスクオフの円高が進行しやすい。市場が落ち着きを取り戻せば再度日銀の利上げ観測が高まって、中長期的には徐々に上値が重くなりやすくなる展開を想定。

【為替】豪ドルは対ドル・対円ともに一時大きく下落も次第に回復

4 月の豪ドルは対ドルでやや上昇、対円は大きく下落も最終的には概ね横ばいとなった(図表 1,2)。対ドルでは、米国の相互関税の詳細発表を受け 1 豪ドル 0.6 ドルを割り込むところまで弱含んだのち、関税上乘せ分の 90 日間停止が伝わると次第に買い直され、関税発表前の水準を回復した。対円は関税発表直後に一時 1 豪ドル 86 円前後まで下落も、次第に豪ドルの買い直しが進み、月末には関税発表前の水準を概ね回復した。ただし、関税を巡る不透明感が強く、米国からの資産逃避先としては円やユーロが選択されやすい地合いが継続したことから、対ドルに比べて対円の回復は遅れた。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 カ月)】

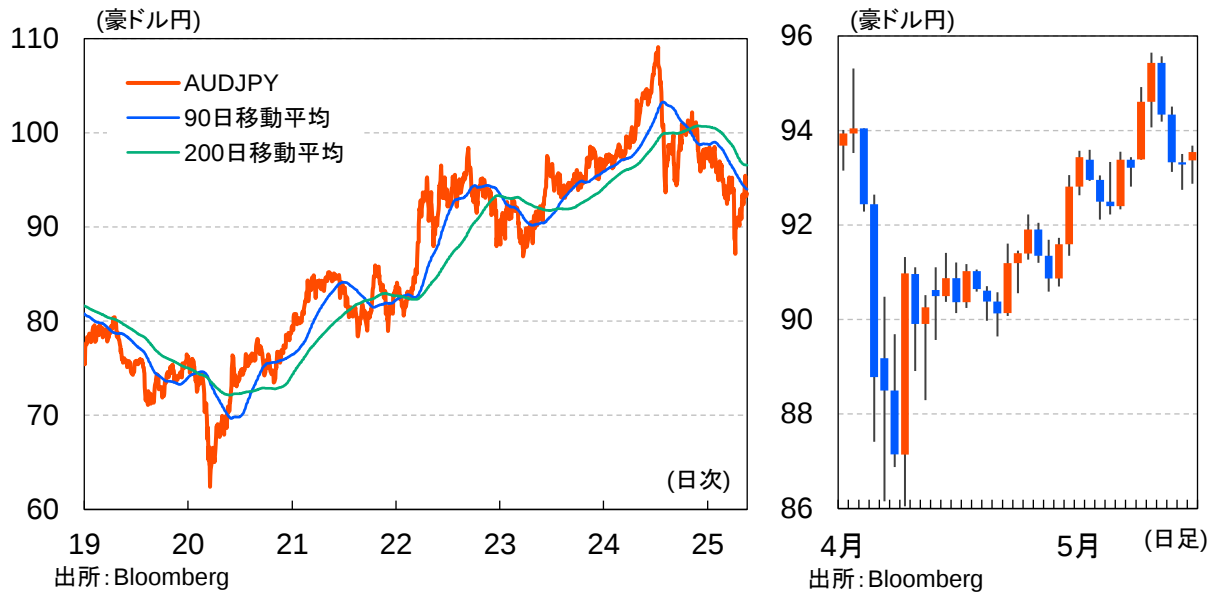


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】

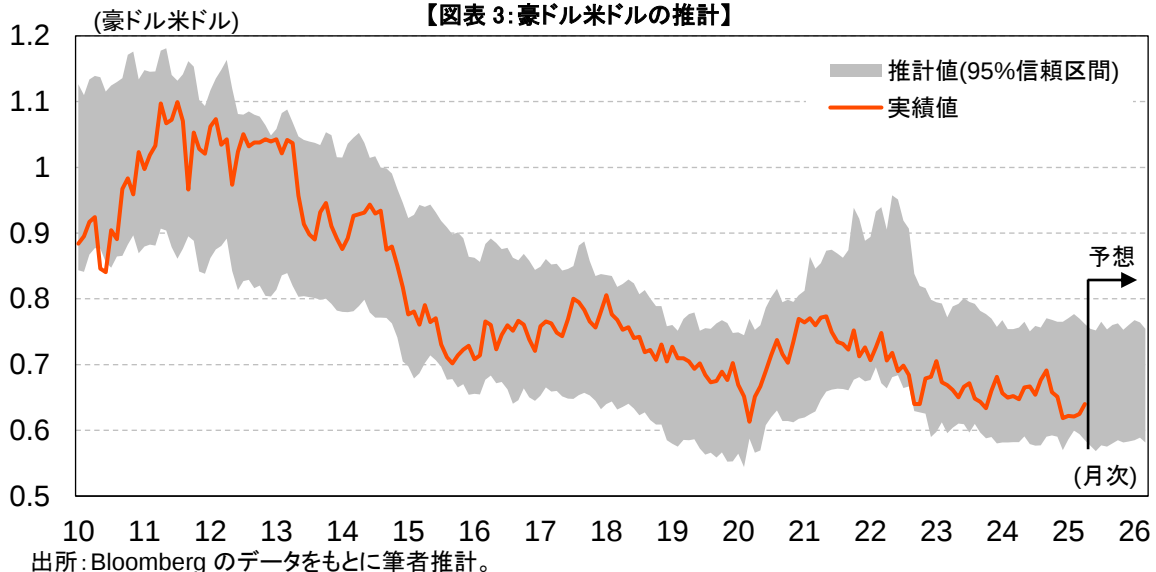


米国の関税政策などが引き続き下落リスク

5 月以降の豪ドルは、対米ドルは 25 年年央にかけて概ね現状程度の水準で推移しそうだ(図表 3,4)。3 日に実施された総選挙で事前の拮抗予想に反して与党が圧勝すると、安心感から豪ドルが買われる場面もあったが、その後は概ね 1 豪ドル 0.64 ドル台で推移している。米中の関税引き下げ合意を受け、米中貿易戦争が激化するシナリオが実現する可能性は低下したものの、依然として米国の関税政策に対する不透明感は強い。中国と貿易面でつながりの強い豪州にとっては当面のマイナス材料となろう。

対円は米景気懸念を受けたリスク回避の円買いから、25 年夏ごろにかけては円高が進行しやすい展開を想定する。米減税政策の概要が示されれば次第にリスクオフの流れは一服しようが、一方で市場が不安定な状態を脱すれば日銀の利上げ観測が再び高まりをみせると考えられることから、中長期的に豪ドル円は上値が重くなりやすいか。

【図表 3: 豪ドル米ドルの推計】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

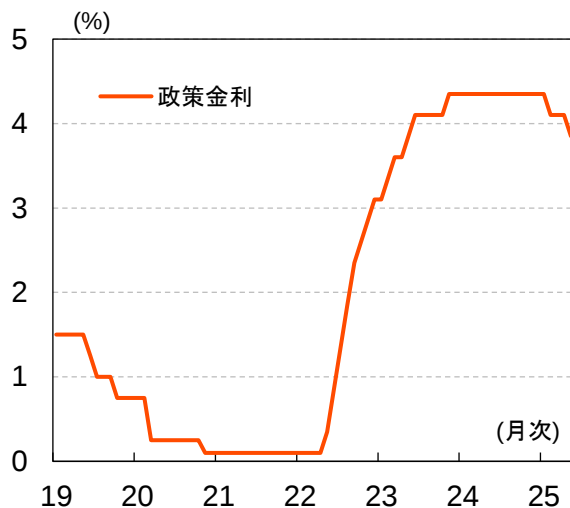
		4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.58-0.66	0.60-0.68	0.60-0.68	0.62-0.70
	期末値	0.64	0.64	0.64	0.66
豪ドル 円	レンジ	86-98	84-96	86-98	90-102
	期末値	94	90	92	96

出所: りそなホールディングス

【金融政策】5 月会合で 2 会合ぶり追加利下げ

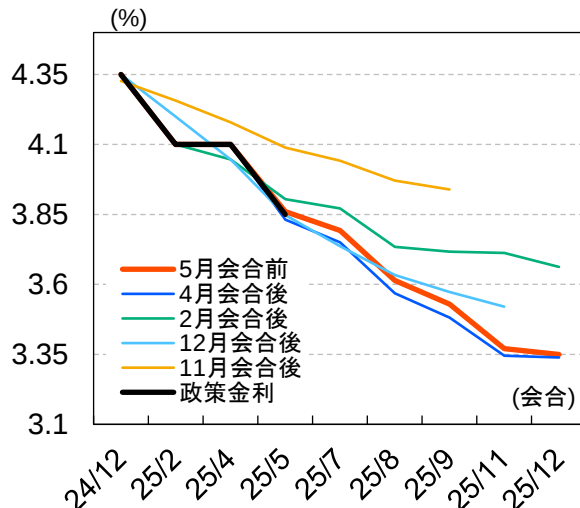
豪中銀は 5 月 20 日の政策決定会合で、政策金利を 3.85%と、25bps の利下げを決定した(図表 5)。声明では「インフレ率は大幅に低下している」とし、「インフレ率は目標レンジ内にあり、(米国の関税政策などの)国際情勢が経済を下押しすることによって上振れリスクは低下している」と、前会合と比べてインフレ鈍化の進捗に自信をみせる、ややハト派的な内容となった。ただし、豪中銀の政策金利見通しは「25 年 12 月時点で 3.4%、26 年 6 月時点で 3.2%」と、漸進的な利下げの継続を見込んでおり、市場の利下げ織り込みに概ね合致する(図表 6)。筆者は、景気の大きな下振れやインフレの下方リスク顕現などがない限り、四半期に一回程度の緩やかな利下げパスとなる予想を維持する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



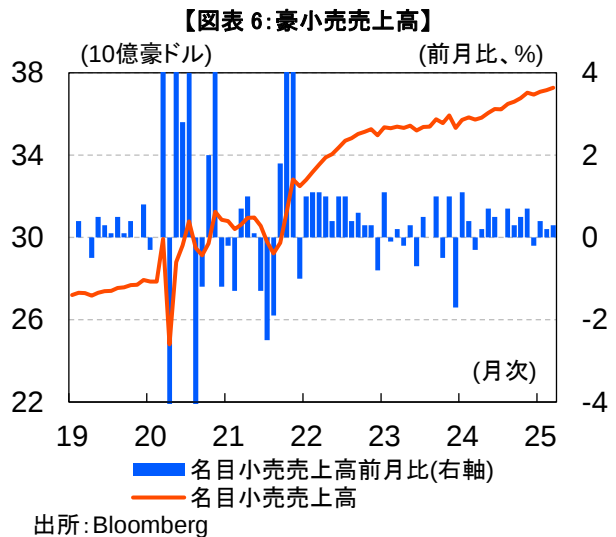
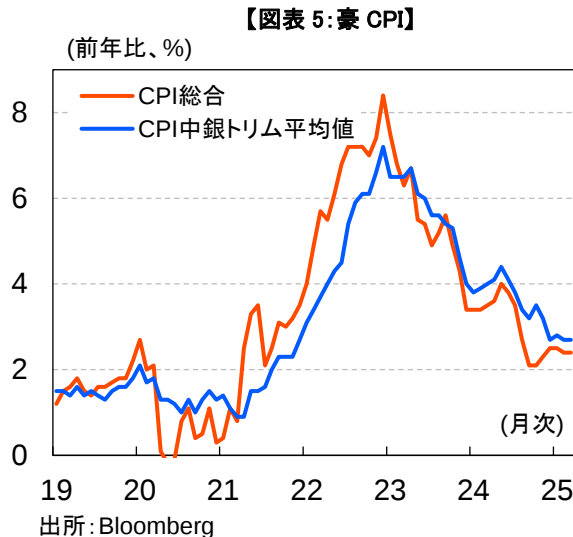
出所: Bloomberg

【景気】物価・消費: 物価の基調は徐々に鈍化傾向

4 月 30 日に公表された 3 月 CPI 総合指数は前年比 2.4%、コア指標として豪中銀が重視するトリム平均値は前年比 2.7%だった。財全体のインフレ率鈍化の動きが継続したことで、総合指数は物価目標のレンジである 2~3%の間で推移し、基調的な物価上昇率を示すトリム平均値も物価目標のレンジ内に収まるなど、インフレ鈍

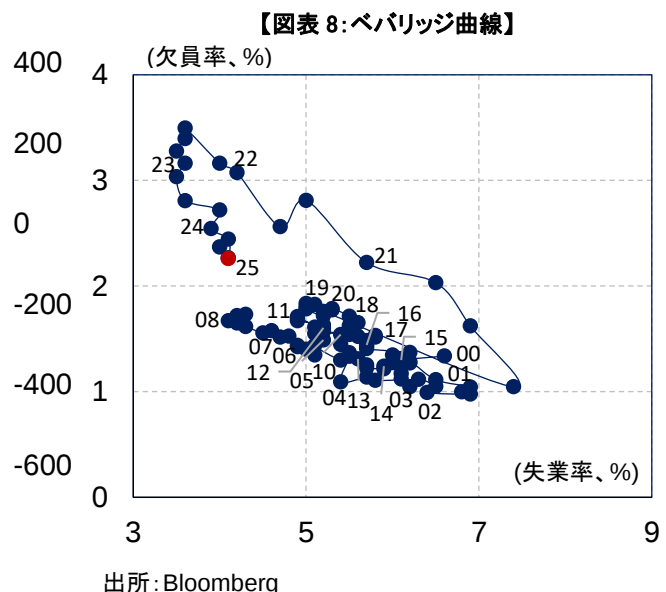
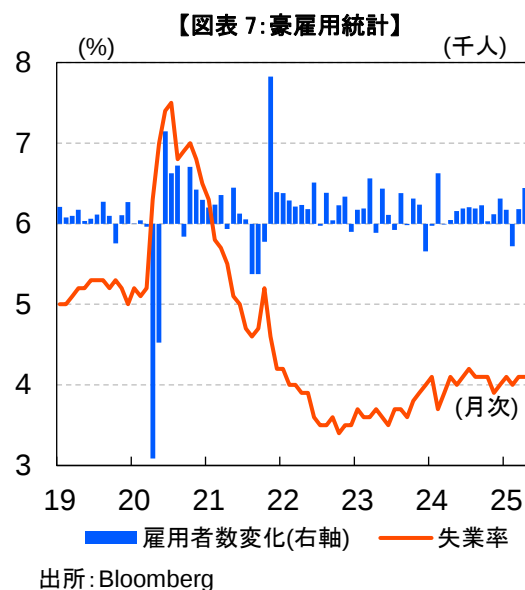
化の動きが継続する結果となった(図表 5)。ただし、今年後半には電気代抑制政策実施から 1 年経過すること
で、裏が出る形で一時的に総合インフレの上昇率は再加速する可能性がある。

5 月 2 日公表の 3 月小売売上高は、前月比 0.3%と市場予想(同 0.4%)を下回った(図表 6)。インフレ鈍化の
流れは消費を下支えしたものの、3 月上旬にブリスベン付近に上陸したサイクロンの影響などもあったとみられ
る。



【景気】雇用:雇用者の伸びは前月から大幅加速

5 月 15 日に公表された 4 月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が+89.0 万人(市場予想: +22.5 万
人)、失業率が 4.1%(市場予想: 4.1%)と、雇用者数の伸びは市場予想を大幅に上回った(図表 7)。女性の正規
雇用者の大幅な増加が寄与しており、2~3 月の雇用者数の伸びが低位にとどまったことの反動もあるとみられ
る。失業率は低位を維持しており、労働市場は非常にタイトな状態が続いているとみられるが、欠員率と失業
率の関係を表すベバリッジ曲線を確認すると、グラフ上の点は 00~10 年代の分布に向かって徐々に近づいて
おり、労働市場がコロナ禍以前の環境に戻りつつあることが示唆される(図表 8)。



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
156	2025/2/4	米国経済	1 月 ISM 製造業景況感指数
157	2025/2/4	欧州経済	25 年 1 月ユーロ圏物価動向
158	2025/2/7	日本株	日本株需給(1 月 27 日～1 月 31 日)
159	2025/2/13	米国経済	1 月米 CPI
160	2025/2/14	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 2 月)
161	2025/2/14	コモディティ	25 年 1 月 WTI 原油先物価格
162	2025/2/17	日本株	日本株需給(2 月 3 日～2 月 7 日)
163	2025/2/25	日本株	日本株需給(2 月 10 日～2 月 14 日)
164	2025/2/27	欧州政治	2025 年 2 月ドイツ連邦議会選挙
165	2025/2/28	米国株, 日本株	エヌビディアの決算とマーケットへの影響 2025 4Q
166	2025/2/28	豪州経済	25 年 2 月豪州概況
167	2025/3/3	日本株	日本株の 2 月セクター動向と 3 月見通し
168	2025/3/3	日本株	日本株需給(2 月 17 日～2 月 21 日)
169	2025/3/4	欧州経済	25 年 2 月ユーロ圏物価動向
170	2025/3/4	米国経済, 米国株	2 月 ISM 製造業景況感指数
171	2025/3/7	半導体, 米国株	日本株需給(2 月 25 日～2 月 28 日)
172	2025/3/7	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
173	2025/3/12	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 3 月)
174	2025/3/13	米国経済	2 月米 CPI
175	2025/3/14	日本株	日本株需給(3 月 3 日～3 月 7 日)
176	2025/3/19	米国株	2025 年の米国株見通し(2025 年 3 月号)
177	2025/3/21	米国経済	3 月 FOMC
178	2025/3/24	日本株	日本株需給(3 月 10 日～3 月 14 日)
179	2025/3/28	日本株	日本株需給(3 月 17 日～3 月 21 日)
180	2025/4/1	日本株	日本株 3 月セクター動向と 4 月見通し
181	2025/4/4	日本株	日本株需給(3 月 24 日～3 月 28 日)
182	2025/4/4	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し
183	2025/4/10	米国経済, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 2
184	2025/4/11	日本株	日本株需給(3 月 31 日～4 月 4 日)
185	2025/4/11	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 4 月)
186	2025/4/11	米国経済	3 月米 CPI
187	2025/4/15	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 3
188	2025/4/15	コモディティ	25 年 3 月 WTI 原油先物価格
189	2025/4/17	豪州経済	25 年 4 月豪州概況
190	2025/4/18	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
191	2025/4/18	日本株	日本株需給(4 月 7 日～4 月 11 日)
192	2025/4/22	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 4 月)-特別号
193	2025/4/25	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給(4 月 14 日～4 月 18 日)
194	2025/5/1	日本株	日本株 4 月セクター動向と 5 月見通し
195	2025/5/1	欧州経済	25 年第 1 四半期ユーロ圏 GDP 統計
196	2025/5/7	欧州経済	25 年 4 月ユーロ圏物価動向
197	2025/5/7	日本株	日本株需給(4 月 21 日～4 月 25 日)
198	2025/5/7	米国経済, 米国株	4 月 ISM 製造業景況感指数
199	2025/5/7	米国経済	4 月雇用統計
200	2025/5/8	米国経済	5 月 FOMC
201	2025/5/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025 年 5 月)
202	2025/5/13	日本株	日本株需給(4 月 28 日～5 月 2 日)
203	2025/5/13	米国経済, 日本株, 米国株	トランプ関税の影響整理と株価見通し 4
204	2025/5/14	米国経済	4 月米 CPI
205	2025/5/16	日本株	日本株需給(5 月 7 日～5 月 9 日)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。